

# 安倍政権は日本をどこへ導くか？—改憲と構造改革のゆくえ

「建国記念の日」に反対する奈良県民集会講演レジュメ

2007.02.10. 渡辺 治

## はじめに

安倍政権の「画期性」・安倍政権の2つの課題

安倍政権の支持率低下と「原点復帰」の危険性—「本来の安倍さんのカラーを」

## 1 安倍政権の2つの課題—保守政権の宿願

### (1) 90年代保守政権の2つの課題—小泉政権5年半の到達点と限界

#### (a) 経済グローバル化と2つの改革

冷戦終焉と経済グローバル化の拡大・加速化・軍事大国化と構造改革

(1) グローバル秩序維持とアメリカの「世界の警察官」化・軍事分担の強い圧力

(2) グローバル市場の拡大に伴う競争の激化と構造改革

#### (b) 軍事大国化の新段階と限界

軍事大国化の障害物としての憲法—改憲への恐怖

解釈改憲の10年

小泉政権での到達点・自衛隊の、インド洋海域への派兵、イラク派兵の強行

改憲、国際貢献法抜きの派兵の限界の自覚・武力行使の不可能

アメリカの圧力と苛立ち—米軍再編とラムズフェルド発言

財界のアジア戦略と改憲提言

2003「活力と魅力溢れる日本をめざして」—東アジア自由経済圏構想

2005「我が国の基本問題を考える」—9条改憲の提言

#### (c) 構造改革の強行と矛盾

日本では構造改革の「敵」が自民党利益誘導政治

抵抗勢力とのたたかい—構造改革の強行、恒常化体制

構造改革による「格差社会」化、社会統合の破綻

### (2) 安倍政権の2つの課題・小泉政権の限界突破

軍事大国化の完成・憲法9条の改憲

格差社会の矛盾の爆発の抑え込みと構造改革推進・労働法制改憲、教育基本法改憲

## 2 安倍政権の改憲政策は何をめざすか？

### (1) 改憲のためのクルマの両輪づくり

憲法96条の課す2つのハードル

第96条 この憲法の改正は、各議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行はれる投票において、その過半数の賛成を必要とする。

衆参両院の三分の二をとれる改憲草案づくり

改憲手続き法づくり

## (2) 自民党新憲法草案のねらいと特徴

### (a) 自民党改憲案の肥大化—格差社会と社会の分裂の深刻化

自民党改憲派の危機感・新保守的規定の盛り込み

保守支配層主流の焦りと方針転換—民主党、公明党の抱き込み策

支配層の切実な要請にこたえる改憲、民主党を抱き込める改憲案

2005年10月28日自民党新憲法草案公表

### (b) 自民党新憲法草案の5つの特徴

#### (1) 新保守的改憲を落として9条改憲による「戦争する国づくり」に絞る

9条で海外での武力行使正当化

20条改正で「政教分離」の緩和—靖国参拝・国家護持の台憲化

軍法会議の設置

#### (2) 9条改憲で「集団的自衛権」という言葉は使わない

「平和と安全を確保するために国際的に協調して行われる活動」に替える

#### (3) 新しい人権を少し入れる

民主の賛成をえたいという苦心—新しい人権が市民の武器にならないように限定

民主との協議で余裕を

#### (4) 民主党も賛成する新自由主義的改憲条項

内閣総理大臣の権限強化、64条の2「政党」条項

#### (5) 96条改正で、何回も改憲やればいい

自民党内タカ派への配慮

## (3) 改憲手続き法の2つのねらい

### (a) 2つの矛盾したねらい

改憲国民投票で改憲派の勝利の確保

民主党の改憲への抱き込み

### (b) 改憲手続き法の変貌の意味

#### (1) はじめの与党案—何でもありの法案

運動期間、一括投票、マスコミ規制、過半数の定義、年令

#### (2) 民主党とのすり合わせ・修正協議

